

令和8年(2026年)9月30日

保護者の皆様

札幌市立清田緑小学校
校長 三 國 昌 人

「令和8年度 全国学力・学習状況調査」 本校6年生の調査の結果概要等のお知らせ

令和8年4月23日に、全国の小学6年生を対象として「令和8年度 全国学力・学習状況調査」を実施しました。本調査は、**全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的**としています。

本校6年生の個人の結果については、先日既に6年生に配付しておりますが、この紙面では、本校6年生全体の「調査結果概要」と「今回の調査における課題」及び「学びの改善の方向」をお知らせします。このうち、**「課題」につきましては、6年生だけの課題としてではなく学校全体の課題として捉えておりますので、全学年を通じて「改善の方向」に向かって取り組んで参ります。**

なお、今回の結果は、児童の学力の特定的一部分であることをご理解いただきたく存じます。

全国学力・学習状況調査の内容

①教科に関する調査

【国語】・【算数】（調査する前学年までに含まれる指導事項）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

②生活習慣や学習環境に関する質問調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査



【国語】 調査の結果概要及び改善の方向

本校の結果概要

今回の調査における課題

改善の方向

【学習指導要領の内容】

〈知識及び技能〉

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

全国平均を大きく上回っている。

【正答率】

本校 68.7 北海道 48.7 全国 45.2

情報の扱い方に関する事項

全国平均を下回っている。

【正答率】

本校 42.2 北海道 53.4 全国 55.6

〈思考力、表現力、判断力等〉

「話すこと・聞くこと」

全国平均を上回っている。

【正答率】

本校 81.9 北海道 71.9 全国 73.9

「書くこと」

全国平均を下回っている。

【正答率】

本校 51.8 北海道 55.9 全国 57.9

「読むこと」

全国平均を上回っている。

【正答率】

本校 61.4 北海道 53.8 全国 55.5

●年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

▲情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う

●相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える

▲筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える

●目的に応じて、必要な情報を見付けることができる

☆筆者の主張がどのような事例によって支えられているのかを、叙述をもとに矢印で結び付けたり、図示したりする活動を取り入れる

☆それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを考え、読み手が理解しやすいように書き方を工夫することができるように、説明文の教材を用いて、段落ごとの内容を捉えたり、役割を確認したりする活動を設定する

【算数】 調査の結果概要及び改善の方向

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【学習指導要領の領域】

「数と計算」

全国平均を下回っている。

【正答率】

本校 56.0 北海道 58.2 全国 61.1

「図形」

全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

【正答率】

本校 52.7 北海道 51.8 全国 55.3

「測定」

全国平均を下回っている。

【正答率】

本校 72.3 北海道 76.4 全国 78.1

「変化と関係」

全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

【正答率】

本校 39.8 北海道 38.1 全国 41.1

「データの活用」

全国平均を下回っている。

【正答率】

本校 39.5 北海道 45.6 全国 48.6

▲数を四捨五入して、概数で表すことができる

▲日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できる

▲示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができる

▲基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる

▲二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる

☆復習問題等に取り組み、内容の定着を図る

☆既習の基本図形の辺や角の性質について確認するとともに、問われている内容の趣旨を捉え、解決の方向性を文章で書いたり伝えたりする活動を取り入れる

☆示された情報を、数直線を用いて視覚化する活動を取り入れる

☆基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えるために、「何を1とみるか」を数直線や図などを示しながら確認する

☆様々なパターンの二次元の表を提示し、それぞれの表の特徴を捉え、情報を正しく読み取る活動を設定する

【質問紙調査】 調査の結果概要及び改善の方向

本調査における成果

【肯定的な回答が、全国平均と比較して大きく上回っている質問】

- 学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。
- 先生はあなたのよいところを認めてくれると思いますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表スライド）を作成することができますと思いますか。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- 学級会における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれましたか。
- 国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

本調査における課題

【肯定的な回答が全国平均と比較して大きく下回っている質問】

- ▲普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか。
→4時間以上と回答する児童が全国平均に比べて多い。
- ▲将来の夢や目標を持っていますか。
- ▲自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ▲分らないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- ▲土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
→2～4時間以上と回答する児童が全国平均に比べて少ない
- ▲算数の勉強は好きですか。
- ▲算数の授業の内容はよく分かりますか。
- ▲英語の勉強は好きですか。
- ▲将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか。

改善の方向

☆学校に行くことを楽しんでいる子どもが多くいることが分かります。その背景として、ご家庭で学校の様子についてお子様と話をしていただいているという現状があります。ご家庭でのご協力、ありがとうございます。

☆SNSや動画視聴などデジタル機器の画面を見ている時間が全国平均に比べて長いという結果になっています。デジタル機器の画面を長時間見ることは、眼精疲労や睡眠不足の原因となります。ご家庭でもう一度ルールの確認等をよろしくお願いいたします。

☆学校外での学習時間が全国平均に比べて短いという結果になっています。学校では「家庭での学習の手引き」を配付し、子どもたちに学習への自主性や学習する習慣を身に付けていくことができるようにしています。子どもたちが更に主体的に学習に取り組めるよう、自分に必要な学習課題を設定したり、学び方を考えたりする力を、授業等を通して育成していきます。

☆算数と英語の勉強が好きと回答が全国平均を下回っていました。その原因として、算数と英語の学習に苦手意識をもっているということが分かりました。子どもたちが「分かった。」「できた。」と実感し、自信をもって学習に取り組めるよう、学習形態を工夫したりより丁寧な指導を意識したりしていきます。